



「共助」からはじまる地域づくり

鎌田地区ひろばふれあいまつりで行われた炊き出し訓練（日赤奉仕団鎌田分団と国際福祉専門学校による）

地域づくりをいっそうすすめましょう。住民のみなさんの力こそ大切です。
 まずは、地域の実情を知るために「参加する」から理解を深め、「協力する」へ。
 みなさんも共助による地域づくりの第一歩を踏み出してみませんか！

- ・ 社会福祉大会の要旨…………… 2 P
- ・ 笑顔いっぱい、地区のイベント…………… 3 P
- ・ ボランティア情報「こてまり」… 4～5 P
- ・ ふくしかわらばん…………… 6 P

平成19年 No.176
9月15日号

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
 編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
 E-mail:syakyoun@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

ふれあいネットワーク

社協 まつもと

私にもできる安全・安心な地域づくり

地域の安全・安心は1人ひとりの一歩から



市民芸術館で盛大に開催されました

社会福祉大会に

千人参加

七月八日、第四十八回松本市社会福祉大会が、「共に支え、共に助け合い、共に生きる地域づくりを進めよう」をテーマに市民芸術館で開催されました。

防災と福祉に取り組む町会活動、地域での子育て支援活動等を発表するシンポジウムや、記念講演を通して、約千人の参加者が地域での助け合い、「共助」のあり方について理解を深めました。



3人のシンポジストによる事例発表

シンポジウムの発表から

●町会福祉の一環として実施している「出前ふれあい健康教室」の折に行う茶話会で、参加者同士がいろいろな情報交換をしている。このことがいざという時の対応に役立つと思う。

●子供たちに本の楽しさを伝えたい、との思いで読み聞かせを行っているが、年数を重ねるうちに、子供からも「お話のおばちゃん」と認識されるようになった。子供が狙われる犯罪が多発する現在、身近に知っている「おばちゃん」がいることは大事だと思う。

●町内公民館を町内の人が自由

に出入りできるように開放してはどうか。そのことで、家に閉じこもりがちな高齢者を外に引っ張り出し、気軽に井戸端会議もできると思う。

●災害が発生した時に、「人を救ったのは人の心」であった。そのことを認識して、お互いに助け合い、明るく住みよい街づくりをめざし、年代を越えて話し合いを進めている。

●見守り安心ネットワークの一環として作成した「災害時要援護者台帳」は、災害時だけに限らず、緊急時や隣近所で何か変わったことがあった時、連絡を取り合って活用できる。そのことが共助につながると思う。

●異世代間で楽しく交流できる場が欲しい。災害が起きた時、避難所に着くまでのお互いの助け合いが、生命を助けるか否かの瀬戸際。あの子はこの子、どのおばあちゃん、と顔の見える繋がりがなければ、助け合うことはできない。ずくをだしているんな場所に顔を出して、人間関係をつくりたい。

さわやか福祉財団理事長 堀田力さんの講演から

「共助」の気持ちは、人間誰しもが持っている本能。困っている人がいたら見捨てておけない、という人間には「人を助ける遺伝子」がある。

六カ月の赤ちゃんもボランティア活動をしている。施設に赤ちゃんが来ると、普段人と話さないおばあさんが、赤ちゃんを笑わそうと一生懸命あやしている。どんな状態になっても、人に喜んでもらうことは嬉しい。

自分にできることを活かして、人に喜んでもらい、役に立つことが、共助の力となる。

人間は、人を助ける能力を二十は持っている。特に優れた能力がなくても隣近所で人助けはできる。これがボランティアであり、共助につながる。



「共助」を協調する堀田さん

笑顔いっぱい、地区のイベント

あいちゃん 作・上原ゆう子



輪投げもなかなか難しいね

本郷地区
おもしろスポーツレク大会で、ニユースポーツを中心に大人から子どもまで一緒に楽しみました。



岡田地区に響いた祭りばやし

岡田地区
おかだ夏まつりは、みどころ満載。交流の輪が広がりました。



絵手紙コーナーは大賑わい

四賀地区
「元気で楽しく!」をテーマにぼらぼらまつりが行われました。



お城をバックにばんばん

中央地区
夏の風物詩。お城の公園で青山様・ばんばん。



流しそうめんを涼を楽しむ

中山地区
中山地区ひろばまつりでの流しそうめん。子どもたちに大好評でした。



地域の人が先生です!

夏休み小学生福祉体験
小学生がおやきづくりに挑戦しました。



グループワークで地域を考える

芳川地区
芳川地区ボランティア講座。地域の中で自分ができることを考えました。

筑摩高校で出前疑似体験開催!



アイマスク体験で誘導する人、される人を体験しました

生徒の感想を紹介します
アイマスク体験などをして、障害をもっている人やもっていない人たちが、お互い気持ち良く生活が送れるように、マナーなど身近なところから気を配っていきたい。
色々な疑似体験をしてみ、障害のある方や高齢者がどれだけ大変なのがわかった。だから、町で困っている人を見かけたら手助けをしてあげたいと思う。でも、本当は手伝ってあげなくても大丈夫なように、町もバリアフリーが増えて、人も優しくなることが一番だと思った。

「こてまり」はこんな情報を発信しています！

- ・ボランティア活動についての情報
- ・活動者、団体の紹介
- ・講習会や行事などの紹介

<申し込み・問い合わせ>

松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター
TEL(0263)25-7311 FAX(0263)27-2239

ボランティア情報 こてまり

ボランティア活動紹介



ゴミ^{ゼロ}GO!GO!ひろめ隊(庄内地区) —地域にゴミ拾いを広めよう!—

庄内地区に6月30日、美化活動をするボランティアグループが誕生しました。その名も「ゴミ0(ゼロ)GO!GO!ひろめ隊」です。活動内容は、毎月5のつく日(5日、15日、25日)に5分間または5個のゴミを、それぞれの賛同者が身近な場所で拾うというものです。



この活動を提案したのは神田の手塚八重子さんです。以前から、道端などに落ちていたゴミが気になり、気付いた時に拾っていたそうです。しかし、拾っても拾ってもなくなるゴミに、虚しさを感じるようになったといいます。「自分一人ではだめだ。大勢の人が少しずつゴミを拾えばきっと街はきれいになる。地域にゴミ拾いを広めよう!」。「庄内地区福祉ひろば」のコーディネーターに相談、「ひろめ隊」の結成となりました。



この活動に賛同し、登録した人たちは地区外の人も含めて、子どもからお年寄りまでの30人です。会長の手塚さん達は「この活動が広まり、地域の人たちの意識が高まれば、ゴミのない街になると思います」と地道な活動に取り組んでいます。

理美容師のたまごたちによる メイク&マッサージ ボランティアフェスタ

昨年に引き続き、今年も高齢者・障害者の方を対象にメイク、マッサージ、ツメの手入れなどを無料で行います。松本理容美容学校の学生さんと交流しながら、体験してみませんか。

- ・日時：10月23日(火) 9:15~11:30
- ・内容：メイク、ハンドマッサージ、ツメの手入れ(女性のみ)、シャンプーマッサージ(男女とも可)
- ・場所：松本理容美容専門学校(松本市宮田11-7)



昨年の様子

申し込み・問い合わせは
ボランティアセンターへ

出張 福祉体験講座

アイマスク体験、車イス体験、高齢者疑似体験をとおして、みんなが生活しやすい環境とはどんなものか、考えてみませんか。

ボランティアセンターでは、地域、学校、職場へ出張し、福祉体験講座を行っています。内容、日時については随時ご相談を承ります。



夏休み福祉体験を開催

— 親子が福祉への意識を高める —

夏にトライ——。松本市社会福祉協議会は、さる8月1日、城東公民館で、小中学生を対象にした“夏休み福祉体験”を開きました。付き添いの母親合わせて27人が参加、手話や素朴な懐かしい菓子作りを通じて福祉に対する意識を高めていました。

まず、耳の不自由な人との接し方についての話や基本的な手話の指導などがありました。参加者から「手話のことをさらに知ることができました」と感想。「手話を勉強してみたい」という小学生もいました。



このあと、参加者はおやき作りに挑戦しました。「初めて作りましたが、とても楽しかった」と笑顔の小学生がいました。でき上がると、用意されたそうめんと一緒に味わっていました。母親の中に「貴重な体験をさせていただきました」と話す人がいました。

エスエーディ

SADの集い

エスエーディ

SAD（社会不安障害）とは、過度のあがり症や人前不安から、社会生活を送りづらくなる病気です。また、うつ病、依存症、パニック障害など、心の病を引き起こす原因ともなります。

そんな悩みを抱える方が、安心して過ごせ、人との繋がりをもてる場所ができました。

日時：毎月第2日曜日13:00～16:00

場所：松本市総合社会福祉センター5階
ボランティアセンター

対象：あがり症や人前不安で、悩んでいる10代から40代の方。

内容：当事者同士でお茶を飲みながらおしゃべり、ゲームなどを楽します。

費用：茶菓子代100円

エスエーディ ナガノ
主催：SADサークルNagano

ボランティア募集

福祉施設の行事を手伝ってくださる方を募集します！
申し込み・問い合わせはボランティアセンターまで。



	日時	行事名	場所	ボランティア内容	人数
1	毎月第3金曜日 14時～15時30分	SPレコード鑑賞会	特別養護老人ホーム 岡田の里（岡田）	利用者の誘導、利用者と一緒にレコードを聴き、歌って楽しむ。	3名
2	毎月第3日曜日 14時～15時30分	映画鑑賞会	特別養護老人ホーム 岡田の里（岡田）	利用者の誘導、利用者と一緒に映画を鑑賞して楽しむ。	3名
3	毎月第3木曜日 14時～15時30分	のんびり体操	特別養護老人ホーム 岡田の里（岡田）	利用者の誘導、利用者と一緒に体操する。	3名
4	10月28日（日） 9時頃～16時頃	ささらの里まつり	障害者支援施設 ささらの里（内田）	利用者の食事手伝い、利用者と一緒にお祭りを楽しむ。	10名
5	10月21日（日） 9時頃～12時頃	いもほり会	介護老人保健施設 城山介護老人保健施設（城北）	いもほり、利用者との交流。 ※いもほりのできる格好で	10名
6	12月後半の 土曜日	クリスマス会	有料老人ホーム サングリーン藤ヶ原（里山辺）	アットホームなクリスマス会を利用者と一緒に楽しむ。	10名

出張ボランティア相談

ボランティアセンターの職員が出張ボランティア相談をおこなっています。ボランティア保険の加入手続きもできます。どうぞご利用ください。

日時：毎週火曜日、金曜日10:00～19:00
場所：松本市役所大手事務所
市民活動サポートセンター2階
電話：88-2988 お気軽に問い合わせを。

ふくし・かわらばん



赤い羽根共同募金にご協力ください!

本年度も、10月1日から12月31日までの期間で、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に実施されます。本年度松本市支会の目標額は、33,628,000円です。

お寄せいただいた赤い羽根共同募金は、「車イスや福祉自動車」の貸出し事業、広報誌「社協まつもと」や「ホームページ」による広報事業、「松本市社会福祉大会の開催」による啓発事業、「町会児童遊園の整備」や「町会福祉活動の推進」等の事業に活用されています。

また、各地区で行う「敬老会」や「ふれあい会食会」等の事業、「ボランティア講座」や「福祉講座」の開催、「見守り安心ネットワーク」や「友愛訪問」等の事業に役立てられています。

誰もが安全・安心に暮らし、共に生きる地域づくりを進めるために、本年度も、皆さまの温かいご協力をよろしくお願いします。



【受付窓口・問い合わせ先】

〒390-0833 松本市双葉4番16号 松本市社会福祉協議会内
長野県共同募金会松本市支会
電話 27-3381



在宅介護者の集い参加者募集中!

コース	実施日	行き先	募集締切日
B	10月24日(水)	湯田中温泉・小布施	10月10日(水)
C	11月13日(火)~14日(水)	愛知県知多半島師崎	10月30日(火)
D	2月20日(水)	浅間温泉	2月6日(水)

対象 日頃、在宅で要介護高齢者の介護をされている松本市在住の方。
※原則、1世帯について1名の参加。また、1人1コースのみの参加となります。

※申し込み多数の場合、新規の方を優先させていただきます。

参加費 日帰りコース 1,000円 1泊2日コース 5,000円

申し込み・問い合わせ 松本市社会福祉協議会
地域福祉課 (電話 25-7311・27-3381)



福祉の職場で働く職員を募集します。お気軽にお問い合わせください。

1. デイサービスセンター職員

- 《募集職種》 ● 看護師 (嘱託職員：正看護師または准看護師の資格を有する方)
- 介護員 (登録職員：介護福祉士またはヘルパー資格を有する方)

《勤務場所》 社協北部地区センター (松本市元町3-7-1 ふくふくらいず内)

《申し込み・問い合わせ》 社協北部地区センター 電話 38-7670

2. 訪問入浴介護業務職員

- 《募集職種》 ● 看護師 (臨時または登録職員：正看護師または准看護師の資格を有する方)

3. 訪問介護業務職員

- 《募集職種》 ● 訪問介護員 (臨時または登録職員：介護福祉士またはヘルパー資格を有する方)

《2及び3の勤務場所》 社協在宅福祉課 (松本市双葉4-16 総合社会福祉センター内)

《2及び3の申し込み・問い合わせ》 社協在宅福祉課 電話 25-3133 (内線121、122)

※いずれも、申し込み・問い合わせは9月末日までにご連絡ください。

「社協まつもと」はみなさんの共同募金の配分金で発行されています。